

事業所名	学校法人子どもの森 発達支援SmileOn 放課後等デイサービス事業	支援プログラム（参考様式）			作成日	令和7年	2月	17日	
法人（事業所）理念	法人理念『子ども第一主義』事業所理念「この子が世の中で幸せを感じながら生きていけるように、そんな保護者の皆様の願いを、何とかしてサポートしたい！同じ志をもつスタッフが集まりました。『目の前の子どものことをどれだけ知っているか』私たちは常に、自分たちに問いただけます。知識や技術を磨くことの大切さは言うまでもありません。それでもお子さんとご家族のありようは、一組として同じではあり得ない。私たちは常に、目の前の子どもに向き合い、知ろうとする努力を続けます。お子さまを見守るご家族、地域、進学先などの小社会をつなぐ結び目として、共に目標を見定めて進んでいきたい。共に苦労し、喜びを分かち合う「成長への道」を進めていきます。」								
支援方針	SmileOnは「1・安心感の源となる感覚・運動面の育ち」「2・コミュニケーションと言葉の育ち」「3・共に生きる社会性の育ち」を支えます。これら3つの育ちはそれぞれ影響し合うと共に、「4・心身の健康や適切な生活リズム」を土台として育っていきます。そして日々の生活経験を通して、「5・社会的な認知や行動」が形成されていきます。SmileOnの療育は、こうした5領域の考え方のもとで進めて行きます。加えて「多職種連携」「専門性の向上」「包括的支援」を旨としています。								
営業時間	平日	13時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり		
営業時間	学校休業日	9時	30分から	16時	0分まで	送迎実施の有無	あり		
		支援内容							
健康・生活	SmileOnでは心と身体の健康が子どもの発達の源と考えています。またそれを支えるご家族の心身の健康も同じように大切です。プログラムを通じたお子様の身辺自立の支援と共に、ご家族の子育て支援も行います。具体的には、ご家庭での関わり方や生活の工夫を提案したり、現在の心配ごとや将来の見通しと一緒に考えたりします。【対応プログラム：睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL（金銭や時間管理、公共交通機関の利用）の視点も重視します。学齢期には、二次障害やメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようサポートします。】								
運動・感覚	感覚と運動の発達は全てのお子様にとって重要と考え、歩行や座位の安定から姿勢保持、バランス感覚や協調動作の発達を促すプログラムを取り入れています。感覚面の凸凹が認知や行動、情緒に及ぼす影響は非常に大きいため、お子様の感覚的特徴の把握に努め、必要な感覚が得られ、過剰な刺激を減らした「安心できる環境」を用意します。【対応プログラム：子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚た姿勢保持を養う活動を行います。微細運動では、手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。（OT, STの指導あり）】								
本人支援	認知・行動	本人の「理解」と「情緒の安定」の度合いに応じたプログラムの提供を通じ、ものごとが「分かる」、自分の思いが「認められる」、そして行動した結果「できた」といった成功経験を重ねていきます。それによって周囲の世界を的確にとらえ、感情や行動を調整する力が育つことを目指します。【対応プログラム：読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します）】							
	言語 コミュニケーション	発達段階に合わせてスタッフと1対1のコミュニケーションから、集団での指示理解や他児とのやりとりへと進めます。言語化が難しいお子様には非言語的コミュニケーションも重視し、視線やジェスチャー、指差しや写真、絵等も使って意思疎通を促します。さらには感情表現や出来事の説明、質問応答や意図理解の向上も目指します。【対応プログラム：視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発話意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。必要に応じてICT機器を活用し、意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。（言語聴覚士による指導あり）】							
	人間関係 社会性	大人との関わりにおいて基本的安心感を育てる段階から、他児と過ごすことに慣れ、同じことをしたり関わったりする楽しみを知る段階まで、お子様のご様子に応じて環境を設定していきます。構造化された環境やプログラム展開により、無理なく集団に参加できるように支援します。【対応プログラム：ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。】							

家族支援	<p>ご家族と共にお子様の育ちを支えることで、ご家族の安心と自信につながっていくことを願っています。家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や訪問を通じて課題を共有し、家庭で実践しやすいホームプログラムを提案します。加えて、日々の取り組みを支える相談援助を行い、家庭全体で連携しやすいサポート体制を整えます。心配や困りごとにはいつでもご相談に応じます。ご希望の方にはお子様への関わり方や環境の工夫と一緒に考える「ペアレントプログラム」も実施しています。なお、療育の様子はいつでもモニターにてご覧いただくことが出来ます。（あらかじめご連絡いただければ、スタッフがプログラムやお子様のご様子についてお話をいたします。）</p>	移行支援	<p>お子さまの主要な生活の場である進学先でのご様子を知ることは、療育を進める上でも、ご家族の子育てを考える上でも大切だと考えています。SmileOnは学校との連携や訪問を行い、先生方とお子様の状態像や課題、支援方法の共有に努めます。関係機関との連携や共有により必要な支援や環境を的確に把握できるので、お子様のアセスメント結果や個別支援計画書等の支援内容に関する情報はモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。</p>
地域支援・地域連携	<p>お子様やご家族の課題は、地域の課題とも密接に関わっていると考え、地域連携に取り組んでいます。稲城市の自立支援協議会の各部会への継続的な参加、発達支援センター・他事業所・子ども家庭支援センター・学校・相談員・特別支援コーディネーターとの連携を図っています。</p>	職員の質の向上	<p>スタッフは年間を通して各種の研修を受け、自分の専門分野や子どもの発達支援に関する知識と技術の向上に励んでいます。さらに、大学で専門職を育成する先生方よりSupervise（指導）を受け、それを支援に活かしています。先生方の専門は保育学・言語療法・作業療法・理学療法・心理学と多岐に渡り、具体的なケースや療育実践について客観的な助言を受けています。【主な研修：虐待研修・感染症予防研修・緊急時対応・東京都発達支援人材育成研修・行動援助研修・事業所内研修（月1回）・カンファレンス・随時スタッフの療育振り返り時のサポート体制等】</p>
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ●療育参観と保護者交流会　　就学相談座談会・保護者会 ●遠足・お楽しみ会・卒業を祝う会・放ディと児発の交流プログラム（療育時間内でお子様の様子に応じて計画します。） ●避難訓練（毎月実施） ●外出訓練、料理活動、季節のイベントを取り入れた活動（夏に関する催し、クリスマスリース、初詣など）・保護者向け研修や座談会 		